

# アラブ首長国連邦 (UAE)

United Arab Emirates

|                                    | 2012年   | 2013年   | 2014年   |
|------------------------------------|---------|---------|---------|
| ①人口：945万人 (2014年)                  |         |         |         |
| ②面積：7万1,024km <sup>2</sup>         |         |         |         |
| ③1人当たりGDP：4万3,180米ドル<br>(2014年)    |         |         |         |
| ④実質GDP成長率 (%)                      | 6.9     | 4.3     | 4.6     |
| ⑤消費者物価上昇率 (%)                      | 0.7     | 1.1     | 2.3     |
| ⑥失業率 (%)                           | n.a     | n.a     | n.a     |
| ⑦貿易収支 (100万米ドル)                    | 132,986 | 135,528 | 122,380 |
| ⑧経常収支 (100万米ドル)                    | 79,564  | 76,235  | 60,049  |
| ⑨外貨準備高 (100万米ドル)                   | 47,035  | 68,203  | 78,424  |
| ⑩対外債務残高 (グロス)<br>(100万米ドル)         | n.a     | n.a     | n.a     |
| ⑪為替レート (1米ドルにつき、<br>UAEディルハム、期中平均) | 3.6725  | 3.6725  | 3.6725  |

〔注〕 ⑦：国際収支ベース (財・サービス)  
〔出所〕 ①③⑨：IMF、②④⑤⑩：UAE国家統計局、⑦⑧：UAE中央銀行

2014年のアラブ首長国連邦 (UAE) の実質GDP成長率は4.6%と、原油価格が下落したにもかかわらず加速した。成長を牽引したのは財貨・サービスの輸出および投資である。貿易は、輸出の3割を占める石油輸出が減少したものの、非石油輸出、再輸出が堅調に伸び、石油輸出の落ち込みを減殺した。投資は対内直接投資が前年比4.0%減となったものの高水準で推移しており、日系企業を含む、進出外国企業数も堅調に増加している。

## 油価下落にもかかわらず、成長率は加速

UAE国家統計局の国民経済計算によると、UAEの2014年の実質GDP成長率は前年比4.6%と前年の4.3%から加速した。需要面で見ると、成長を牽引したのは、8.2%増と前年の4.5%増から大きく成長した財貨・サービスの輸出で、外需主導の成長となった。内需では、総固定資本形成は3.6%増へ前年の8.3%増から大きく低下したものの経済を拡大した。特に、投資の6割を占める民間投資 (3.6%増) が好調であった。一方、最終消費支出は前年の5.3%増から0.3%増へ大きく伸び悩んだ。これは、政府消費は前年の1.4%増から3.7%増に支出が拡大したが、民間消費が前年比0.3%減と縮小したことによる。

経済を生産面からみると、石油部門、非石油部門ともに好調であった。部門別にみると、GDPの3割強を占める石油部門が原油価格の低下にもかかわらず前年の2.9%増から4.0%増に成長を加速させ経済を牽引した。また、非石油部門では、金融業 (12.5%増)、建設業 (7.3%増)、卸売・小売・修理サービス業 (5.6%増)、政府サービス (10.9%増) の増加も成長を支えた。なお、非石油部門全体としては4.8%増と、前年の5.0%増よりは成長が鈍化した。

2015年の成長率については、UAE経済省は4.5%と引き続き高い成長が可能と強気の姿勢を示す一方、世界銀行は3.1%、IMFは3.2%と3%台の予測をしている。また、財政収支は近年では初めて赤字に転落する見通し (GDP比でマイナス3.0% (IMF)、マイナス6.2% (世界

表1 アラブ首長国連邦 (UAE) の実質GDP統計

(単位：2007年価格、%)

|                 | 2013年 |      | 2014年 |     |
|-----------------|-------|------|-------|-----|
|                 | 成長率   | 構成比  | 成長率   | 構成比 |
| 実質GDP           | 4.3   | 4.6  | 100.0 |     |
| 内需              | 6.2   | 1.4  | 75.5  |     |
| 最終消費支出          | 5.3   | 0.3  | 50.1  |     |
| 政府支出            | 1.4   | 3.7  | 7.4   |     |
| 民間支出            | 6.0   | △0.3 | 42.7  |     |
| 総固定資本形成         | 8.3   | 3.6  | 24.8  |     |
| 政府投資            | 7.2   | 3.4  | 3.6   |     |
| 公共投資            | 10.7  | 3.8  | 6.3   |     |
| 民間投資            | 7.5   | 3.6  | 14.9  |     |
| 在庫増減            | 1.2   | 8.9  | 0.7   |     |
| 外需              | △1.9  | 15.5 | 24.5  |     |
| 財貨・サービスの輸出      | 4.5   | 8.2  | 102.4 |     |
| 財貨・サービスの輸入 (控除) | 6.5   | 6.1  | 77.9  |     |
| 石油部門 (原油・天然ガス)  | 2.9   | 4.0  | 31.4  |     |
| 非石油部門           | 5.0   | 4.8  | 68.6  |     |
| 卸売・小売・修理サービス業   | 4.9   | 5.6  | 11.9  |     |
| 不動産・ビジネスサービス業   | 3.7   | △1.4 | 10.9  |     |
| 製造業             | 1.2   | 3.2  | 8.7   |     |
| 建設業             | 3.4   | 7.3  | 10.5  |     |
| 運輸・倉庫・通信業       | 2.6   | 4.7  | 9.0   |     |
| 金融業             | 19.5  | 12.5 | 8.0   |     |
| 政府サービス          | 11.3  | 10.9 | 6.3   |     |
| 電力・ガス・水         | 2.1   | 4.8  | 2.8   |     |
| 社会・個人サービス業      | 4.6   | 0.2  | 2.4   |     |
| レストラン・ホテル業      | 8.9   | 5.6  | 2.0   |     |

〔注〕 ①2013、14年とも暫定値。

②生産面の統計は、主要項目のみを抽出し、帰属利子などの銀行サービスを控除していないため、各項目の合計は100%にならない。

〔出所〕 UAE国家統計局統計に基づきジェトロ作成

銀行)の予測)である。

これは、油価下落により政府収入が減少、公共投資の抑制措置などが非石油部門にも波及することが避けられないとみられるためである。

UAEの消費者物価指数(CPI)上昇率をみると、2014年は過去数年の

高成長を反映して前年比1.2ポイント高い2.3%となり、上昇基調が鮮明になった(国家統計局)。物価を押し上げた主因は、外国人労働者向け住居への需要が強く、約4割のウェイトを持つ住居費が前年比3.1%上昇したことによる。

### ■石油輸出減少で貿易黒字幅も縮小

UAEの2014年の貿易(UAE国家統計局、通関ベース、暫定値)は、輸出(石油・再輸出を含む)が前年の4.0%増から反転して0.9%減の1兆3,613億3,300万UAEディルハム(以下、AED)(3,706億8,300万ドル、暫定値)となった一方、輸入(フリーゾーン輸入を含む)は前年の5.5%増から鈍化したものの、4.3%増の1兆362億800万AED(2,821億5,300万ドル)と伸びた。この結果、貿易収支の黒字幅は前年より554億9,800万AED(151億1,200万ドル)減少して3,251億2,500万AED(885億3,000万ドル)となった。輸出の減少は、非石油輸出(構成比30.3%)が前年の4.1%増から8.0%増に拡大、再輸出(39.6%)も4.3%増と堅調な伸びを示したが、油価下落により石油輸出(30.1%)が13.8%減となったことが響いた。輸入の増加は国内市場向け(69.3%)は1.5%の伸びにとどまったが、フリーゾーンへの輸入(30.7%)が前年に引き続き11.1%増加したことが寄与した。

品目別の動きを把握できるのは、非石油部門直接貿易のみである。これは石油およびフリーゾーン貿易を含まない。本統計によると、輸出は前年比10.8%減少した。これは、輸出の3割強を占め最大品目となっている真珠・貴石・貴金属が、インド、トルコ向けでそれぞれ42.9%減、66.1%減と落ち込んだため、43.8%減となったことによる。しかし、それ以外の品目の多くは、UAEの製造業の成長や、UAEおよび周辺諸国の需要の伸びを反映し増加している。卑金属・同製品(38.0%増)は、アルミニウムが倍増した(150億8,200万AED)。これは2013年にドバイ首長国とアブダビ首長国の二つのアルミニウムメーカーが合併して誕生したエミレーツ・グローバル・アルミニウム(EGA)の2014年の生産量が年間240万ト

表2 アラブ首長国連邦(UAE)の輸出入<通関ベース>

(単位:100万AED、%)

|       | 輸出(FOB)   |            |       |       |                        | 輸入(CIF) |            |       |      |
|-------|-----------|------------|-------|-------|------------------------|---------|------------|-------|------|
|       | 2013年     | 2014年(暫定値) |       |       |                        | 2013年   | 2014年(暫定値) |       |      |
|       | 金額        | 金額         | 構成比   | 伸び率   |                        | 金額      | 金額         | 構成比   | 伸び率  |
| 石油輸出  | 475,236   | 409,732    | 30.1  | △13.8 | 輸入(国内市場向け)<br>フリーゾーン輸入 | 707,568 | 718,226    | 69.3  | 1.5  |
| うち、原油 | 392,436   | 331,032    | 24.3  | △15.6 |                        | 286,127 | 317,982    | 30.7  | 11.1 |
| 非石油輸出 | 382,361   | 412,773    | 30.3  | 8.0   |                        |         |            |       |      |
| 再輸出   | 516,721   | 538,828    | 39.6  | 4.3   |                        |         |            |       |      |
| 合計    | 1,374,318 | 1,361,333  | 100.0 | △0.9  | 合計                     | 993,695 | 1,036,208  | 100.0 | 4.3  |

[注] ①フリーゾーンへの輸出入を含む。②2014年は暫定値。

[出所] UAE国家統計局

表3 アラブ首長国連邦(UAE)の非石油部門直接貿易<通関ベース>

(単位:100万AED、%)

|               | 輸出(FOB)  |         |       |       |
|---------------|----------|---------|-------|-------|
|               | 2013年    | 2014年   |       |       |
|               | 金額       | 金額      | 構成比   | 伸び率   |
| 真珠・貴石・貴金属     | 80,090   | 45,023  | 34.1  | △43.8 |
| 卑金属・同製品       | 21,766   | 30,028  | 22.7  | 38.0  |
| プラスチック・ゴム・同製品 | 10,511   | 11,581  | 8.8   | 10.2  |
| 機械類・電気機器      | 2,864    | 8,039   | 6.1   | 180.7 |
| 鉱物性製品         | 7,554    | 7,969   | 6.0   | 5.5   |
| 合計(その他含む)     | 148,198  | 132,219 | 100.0 | △10.8 |
|               | 再輸出(FOB) |         |       |       |
|               | 2013年    | 2014年   |       |       |
|               | 金額       | 金額      | 構成比   | 伸び率   |
| 真珠・貴石・貴金属     | 87,279   | 91,581  | 37.6  | 4.9   |
| 機械類・電気機器      | 54,543   | 53,805  | 22.1  | △1.4  |
| 輸送機器          | 37,300   | 44,595  | 18.3  | 19.6  |
| 繊維・同製品        | 9,819    | 9,979   | 4.1   | 1.6   |
| 卑金属・同製品       | 8,539    | 7,873   | 3.2   | △7.8  |
| 合計(その他含む)     | 232,184  | 243,734 | 100.0 | 5.0   |
|               | 輸入(CIF)  |         |       |       |
|               | 2013年    | 2014年   |       |       |
|               | 金額       | 金額      | 構成比   | 伸び率   |
| 真珠・貴石・貴金属     | 223,809  | 181,823 | 26.1  | △18.8 |
| 機械類・電気機器      | 116,666  | 138,058 | 19.8  | 18.3  |
| 輸送機器          | 94,711   | 104,025 | 14.9  | 9.8   |
| 卑金属・同製品       | 50,714   | 53,830  | 7.7   | 6.1   |
| 化学・同関連製品      | 37,960   | 43,146  | 6.2   | 13.7  |
| 合計(その他含む)     | 685,068  | 696,426 | 100.0 | 1.7   |

[注] 石油、フリーゾーンへの輸出入を含まない。

[出所] UAE国家統計局

ンに拡大したためである。機械類・電気機器は、イラク向けが32億9,300万AEDと前年の15.3倍に急伸したことを主因として2.8倍となった。

再輸出は前年比5.0%増と比較的堅調だった。これは最大品目の真珠・貴石・貴金属が4.9%増と安定して拡大したことが大きい。これを仕向地別にみると、最大市場のインドが34.4%減、前年2位だったイランが49.4%減と大きく減少した一方、その他主要市場のベルギー(12.1%増)や香港(31.6%増)、スイス(3.0倍)向けが増加している。主要品目で伸び率の大きかった輸送機器(19.6%増)は、最大市場のイランが54.7%増となったほか、2位以下の中国が1.9倍、アンゴラが2.4倍、イラクが42.2%増といずれも増加が著しい。

表4 アラブ首長国連邦 (UAE) 企業に対する外資の主なM&A案件 (2014年)

(単位:100万ドル)

| 業種           | 企業名                            | 国籍         | 時期  | 投資額   | 概要   |
|--------------|--------------------------------|------------|-----|-------|--|
| 切石・石工<br>品製造 | サメナ・ライムストーン                    | ケイマン<br>諸島 | 6月  | 238.2 | ラス・アル・ハイマの窯業製品製造RAKセラミックスの株式30.6%を取得。            |
| 油田・ガス<br>採掘業 | マンナイ・コープ                       | カタール       | 3月  | 150.0 | ドバイの宝飾品・時計小売業ダマス・インターナショナルへの出資比率を高めて株式100%取得。    |
| 投資業          | スタンダード&チャーター<br>ド・プライベート・エクイティ | 英国         | 8月  | 75.0  | ドバイの船荷取扱業トパズ・エナジー&マリンの株式9.8%を取得。                 |
| 検査研究所        | インターテック                        | 英国         | 3月  | 66.0  | アブダビの検査機関インターナショナル・インスペクションの資産100%を取得。           |
| トラック運<br>送業  | アポロ・ロジソリューションズ                 | インド        | 9月  | 32.8  | ドバイの海運会社クラリオン・ SHIPPINGサービスの株式を過半数取得。            |
| 証券投資顧<br>問業  | ガルフ・キャピタル・パート<br>ナーズ           | 米国         | 7月  | 30.0  | ドバイの証券投資サービス業エボルベンス・キャピタルの株式を50%未満取得。            |
| 金属線製品<br>製造業 | ガイリン・ホールディングス                  | シンガ<br>ポール | 6月  | 6.7   | シャルジャの海洋リグ製造業リグ・マリン・ホールディングスの権益の51%を取得。          |
| 規格石材採<br>石業  | ASI グローバル                      | インド        | 11月 | 5.9   | フジャイラの切石・石工品製造業アル・ラワシ・ロック&アグリゲートの資産100%を取得。      |
| 旅行代理業        | アルシャメル                         | クウェート      | 1月  | 3.0   | ドバイの旅行代理業ネット・ツアーズ&トラベルズの資産80%を取得。                |
| 石油精製業        | オマーン・オイル・マーケ<br>ティング           | オマーン       | 2月  | 0.4   | ラス・アル・ハイマの潤滑油製造業ルベケム・インターナショナル・インダストリーの株式40%を取得。 |

〔注〕投資額が判明しているM&A案件を抽出。

〔出所〕トムソン・ワンのデータベースおよび各社発表、報道などから作成

輸入は1.7%増と伸び悩んだ。主要品目は堅調に増加したが、約4分の1を占め最大の真珠・貴石・貴金属が18.8%減少したことが主因である。最大輸入先のインドが22.3%減、これに次ぐスイスが40.6%減となったことが響いた。機械類・電気機器(18.3%増)は欧米やアジア諸国からの輸入が総じて伸びた。輸送機器(9.8%増)の7割を占める乗用車・同部品は日本が同品目の35.1%を占め最大で、以下、米国(13.8%)、ドイツ(12.8%)、韓国(6.3%)、英国(5.9%)、タイ(5.1%)が続く。

## ■対内直接投資はやや減少も高水準で推移

国連貿易開発会議(UNCTAD)によると、UAEの2014年の対内直接投資額は前年比4.0%減の100億6,600万ドルだった。2010年以来4年ぶりの減少だが、減少幅は小幅にとどまり100億ドル超を維持した。対内直接投資が総固定資本形成に対する割合は11.2%である。外国企業のUAE企業に対するクロスボーダーM&A(国境を越える企業の合併・買収)実績(トムソン・ワン集計)をみると、2014年の件数は前年比6件少ない37件で、そのうち金額が公表されている案件は11件、合計額は6億835万ドルだった。最大の案件はケイマン諸島拠点のサメナ・ライムストーンがラス・アル・ハイマ(RAK)首長国に本拠を置いて窯業製品を製造するRAKセラミックスの株式30.6%を取得した案件だ。また、カタール企業のマンナイ・コープは2012年に株式の過半を取得していたドバイを拠点とする中東有数の宝飾品・時計小売企業のダマス・インターナショナルの株式を追加取得し、全株式を取得した。UAE企業に対するM&A 37件の実施企業の国別内訳は、米国が10件で最大となり、インドが4件で

続く。

UAEの主なフリーゾーン(FZ)に対するUAE国内外企業の進出は依然として活発だ。ドバイ・マルチコモディティー・センター(DMCC)は2015年4月、1万社目の入居企業を迎えたと発表している。1年余りの間に2,500社強が増えた計算だ。中東最大の港湾を擁し物流拠点となっているジュベル・アリFZ(JAFZ)には2014年に前年より17%多い679社が新たに進出した。金融機関の集積を目指すドバイ国際金融センター(DIFC)では新たに242社がライセンスを取得し、登録企業数は前年比18%増の1,225社となった。また、TECOMインベストメンツが開発・運営するインターネットシティーやメディアシティーなどドバイの11のFZには同年に800社以上が進出し、入居企業総数は4,650社を超えた。各FZは意欲的な拡大方針を打ち出しており、例えばTECOMは今後10年で入居企業数1万社を、DIFCは同じく10年で金融関係企業の入居を現在の362社から1,000社にすることを目指している。

## ■対外直接投資は着実に増加

2014年のUAEの対外直接投資は前年比4.1%増加し、30億7,200万ドルとなった(UNCTAD)。UAE企業の外国企業に対するクロスボーダーM&A実績(トムソン・ワン集計)は2014年、前年を3件上回る57件だった。金額が公表されている案件はこのうち14件で、合計額は98億7,238万ドルであった。UAEの通信会社エティサラートがモロッコ・テレコム株式53%をフランスのヴィヴェンディから取得した案件が最大で、取得額は56億5,885万ドルに上った。その他では、アブダビ拠点のエ



表5 日本の対アラブ首長国連邦 (UAE) 主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

|           | 輸出 (FOB) |       |       |      |           | 輸入 (CIF) |        |       |       |
|-----------|----------|-------|-------|------|-----------|----------|--------|-------|-------|
|           | 2013年    |       | 2014年 |      |           | 2013年    |        | 2014年 |       |
|           | 金額       | 金額    | 構成比   | 伸び率  |           | 金額       | 金額     | 構成比   | 伸び率   |
| 輸送用機器     | 4,675    | 4,994 | 52.2  | 6.8  | 鉱物性燃料     | 42,238   | 41,139 | 98.0  | △2.6  |
| 乗用車       | 3,101    | 3,410 | 35.7  | 10.0 | 原油および粗油   | 33,582   | 32,290 | 76.9  | △3.8  |
| 原料別製品     | 1,474    | 1,736 | 18.1  | 17.7 | 石油製品      | 1,167    | 1,487  | 3.5   | 27.5  |
| 鉄鋼        | 648      | 833   | 8.7   | 28.5 | 揮発油       | 1,167    | 1,487  | 3.5   | 27.5  |
| 一般機械      | 1,214    | 1,556 | 16.3  | 28.2 | 液化天然ガス    | 4,764    | 4,946  | 11.8  | 3.8   |
| 原動機       | 356      | 452   | 4.7   | 26.7 | 液化石油ガス    | 2,725    | 2,416  | 5.8   | △11.4 |
| 電気機器      | 482      | 619   | 6.5   | 28.5 | 非鉄金属      | 520      | 740    | 1.8   | 42.1  |
| 重電機器      | 53       | 103   | 1.1   | 94.0 | アルミニウム    | 517      | 731    | 1.7   | 41.4  |
| 合計(その他含む) | 8,549    | 9,563 | 100.0 | 11.9 | 合計(その他含む) | 42,852   | 41,978 | 100.0 | △2.0  |

[出所] 財務省「貿易統計 (通関ベース)」から作成

ティハド航空がイタリアのアリタリア航空の株式49%を5億1,972万ドルで取得した案件も注目を集めた。同航空はベルリン航空やセルビア航空など海外航空会社への出資を通じた提携戦略を進めており、アリタリア航空で8社目となった。UAE企業の対外M&Aを国別にみると、2014年は英国が8件で最も多く、米国の5件が続く。

### 日本の対UAE輸出は幅広い品目で増加

日本の「貿易統計 (通関ベース)」をドル換算すると、2014年の対UAE貿易は、輸出が前年比11.9%増の95億6,300万ドル、輸入が2.0%減の419億7,800万ドル、貿易赤字幅は18億8,900万ドル減少し、324億1,500万ドルとなった。輸出は、全般的に好調であったが、特に3割強を占める乗用車 (10.0%増)、1割弱を占める鉄鋼 (28.5%増) が輸出を牽引した。主要品目で増加率が高かったのは電気機器で28.5%増加し、一般機械も28.2%増で続いた。電気機器では重電機器 (構成比1.1%) がほぼ倍増したほか、一般機械ではポンプ・遠心分離機 (2.2%) が40.9%増、建設用・鉱山用機械 (3.4%) が29.7%増で伸び率が高かった。

輸入の減少は、最大品目の原油および粗油が、数量ベースでは前年比0.6%微増したものの、油価が1バレル当たり105.4ドルと4.6%低下し、金額が3.8%減少したためである。日本の原油および粗油の輸入に占めるUAEの割合は金額ベースでサウジアラビア (33.3%) に次ぐ24.4%である。エネルギー確保の点では、国際石油開発帝石 (INPEX) の子会社ジャパン石油開発 (JODCO) が2014年1月、アブダビ市沖合いに位置する上部ザクム油田の権益を2041年末まで15年余り延長することをアブダビ政府から認められたのに続き、同社は2015年4月にはアブダビの陸上油田鉱区の権益5%を入札で新規に取得 (利権契約は2015年1月から40年間) するなどさらなる関係の深化がみられた。鉱物性燃料以外で最大の品目は非鉄金属、特にアルミニウムで、2014年は数量増を背景に前

年比41.4%増と大きく伸びた。日本にとってUAEは、アルミニウム調達先として中国、ロシア、オーストラリアに次ぐ4位 (金額ベースの構成比8.3%) となっている。

### 日本企業はインフラ関連で商機を見込む

日本の国際収支統計

(ネット、フロー) によると、2014年の日本の対UAE直接投資額は90億円 (実行額102億円、引き揚げ額12億円) であった。2015年1~5月累計実績 (暫定値) も49億円 (実行額51億円、引き揚げ額1億円) と引き続き活発だ。

2014年以降の日本企業の対UAE進出では、中東地域等で知見やネットワークを持つ地場企業への出資や合弁会社設立により、特にインフラ関連でビジネス拡大を図る案件がみられた。6月には日立造船が英国や中東で水処理事業を展開するカンバーランドグループ4社 (うち1社が在ドバイで、株式49%を保有) の株式を取得し、子会社化することを発表した。翌7月には三菱商事と三菱重工業がドバイの総合水事業会社Metitoホールディングスの株式38.4%を取得する契約を締結した。今後大きな成長が見込まれる中東、アフリカ、アジア地域で積極的に水事業を展開していく方針だ。2015年3月には、JFEスチールと伊藤忠丸紅鉄鋼がアブダビ政府系投資会社セナートと合弁で、原油・天然ガス輸送用の大径溶接鋼管の製造・販売会社をアブダビのハリーファ工業団地 (KIZAD) に設立することを発表している。このほか、単独進出した例としては、2014年9月に伝動用ベルト等製造・販売の三ツ星ベルトが支店をドバイに開設、そしてポンプ製造・販売の鶴見製作所 (9月)、オフィス機器製造・販売のリコー (2015年2月)、理化学機器メーカーの日本電子 (JEOL) (3月) が現地法人をドバイに設立している。

UAEから日本への直接投資額 (ネット、フロー) は従来ほとんど実績がなかったが、2014年に301億円 (実行額307億円、引き揚げ額6億円) と著増した。2015年に入っても1~5月累計で85億円 (実行額87億円、引き揚げ額2億円) と引き続き投資が流入している。オーストラリアの総合不動産グループ、グッドマンとアブダビ投資評議会は2012年に日本で不動産開発を行う5億ドルのファンドを組成したが、その後出資額を8億ドルに引き上げて、日本の開発事業に重点的な投資を行っている。